

信州大学医学部附属病院 第2内科に  
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ  
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2025年12月12日

「若年者における *Helicobacter pylori* 除菌療法後の長期経過」に関する臨床研究を実施  
しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。こ  
の研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研  
究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	6374
研究課題名	若年者における <i>Helicobacter pylori</i> 除菌療法後の長期経過
所属(診療科等)	第2内科
研究責任者(職名)	岡村 卓磨(助教)
研究実施期間	医学部長による許可日～2029年3月31日
研究の意義、目的	胃がん発症の危険因子として <i>Helicobacter pylori</i> ( <i>H. pylori</i> )感染が明らか にされ、除菌療法が普及しています。若年での除菌療法が発がんの リスクを下げるとされ、確実な胃がん発症予防効果を得るためにはより 若年での除菌療法が必要とされています。しかし、実際の胃がん発症 予防効果を検証するためには除菌療法後の長期経過を追う必要があります。 本研究は、当科で <i>H. pylori</i> 除菌療法を施行した30歳以下の方の長期 経過を解析し、除菌療法による実際の胃がん発症予防効果を明らかに することを目的としています。
対象となる方	2007年1月1日から2024年10月31日の期間に当院で <i>H. pylori</i> 除菌療法を受けられた16歳以上30歳以下の方
利用する診療記録/ 検体	診断名、年齢、性別、内視鏡所見、採取した病理検体など
研究方法	除菌療法後の経過についてアンケート調査を行います。また、過去の診 療記録より内視鏡所見、採取した病理検体などを収集し、長期経過との 関連を検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 岡村 卓磨 (第2内科・助教) 電話:0263-37-2634

既存の診療記録、検査結果、採取検体を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検  
査、検体の採取の必要はありません。

**当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。**

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

**この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。**

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。